

議会 第8回 定例会

鳥小記念事業に 約190万増額

平成18年第8回の村定例議会が12月19日開かれ、一般会計と4特別会計の補正予算、普代村村税条例の一部改正、鳥茂渡小学校の統合に伴う普代村立学校設置条例の一部改正など、10議案が原案どおり可決されました。主な内容は次のとおりです。

▽一般会計補正予算
補正額1171万5千円を増額し、歳入歳出の予算総額を22億2268万2千円にしました。

歳入は繰入金1178万9千円、繰越金257万8千円、財産売払収入130万円、諸収入113万5千円などをそれぞれ増額し、村税の村民税200万円、村たばこ税180万円などをそれぞれ減額しました。

歳出は商工費の休養施設事業への繰出金470万7千円、消防費の久慈地区広域行政事務組合(消防)負担金195万4千円、教育費の鳥茂渡小の閉校記念事業費187万6千円、総務費

の消耗品費180万円、共済組合負担金112万円、民生費の児童手当99万5千円などをそれぞれ増額し、総務費の村営バス購入費205万1千円、教育費のラブリ地球村グローアップ事業153万8千円、消防費の消防車両購入費105万2千円などをそれぞれ減額しました。

保険給付費に 約3900万円

▽普代村民健康保険特別会計補正予算

補正額1878万6千円を追加し、歳入歳出の予算総額を5億2330万6千円にしました。

歳入は繰越金4309万5千円を増額し、繰入金2千万円、国庫支出金430

万9千円を減額しています。歳出は保険給付費に3934万8千円などを計上し、老人保健拠出金2321万2千円を減額しています。

賄材料費などに 約820万計上

▽普代村休養施設事業特別会計補正予算

補正額567万3千円を増額し、歳入歳出の予算総額を3億1087万3千円にしました。

歳入は国民宿舍くろさき荘会計の繰入金470万7千円、同荘営業収入96万6千円を増額し、歳出で同荘施設管理費の賄材料費547万円、燃料費219万2千円など計567万3千円を増額しています。

普中の取り組み、神楽を紹介

38回久慈地区PTA研究大会

第38回久慈地区PTA研究大会が11月11日、村社会体育館で開かれ、久慈地区から約300人が参加しPTA活動の紹介などで交流を深めました。

子どもの「健全育成」を研究テーマにした、全体会では野田小学校と普代中学校の取り組みを発表。

PTA副会長の日野澤郁子さんが「PTAによる健全育成プロジェクト」と題して、奉仕活動や職場体験などで地域住民との活動や、保護者の皆



鳥頭舞七頭舞の中野流強有力の合っ息の披露する普代中神楽同好会のメンバー

さんが学校行事や部活動を支援している取り組みをスクリーンで紹介しました。

アトラクションでは、同好会という形で伝統を引き継いでいる普代中神楽同好会(赤坂夏海会長、会員27人)が迫力ある中野流鶴鳥七頭舞を披露し、参加者から拍手を浴びていました。

記念講演では「豊かなコミュニケーション」を築くために」と題して山形県在住の金藤晃一さんが「よりよい人間関係を築くためにはプラスからプラスの人生観が大切です。

普代中PTAの活動を紹介する日野澤郁子さん

親子、夫婦、他人との会話の中で物事を前向きに考えるようにしましょう」とアドバイスをしました。

